

# ⑧ 横須賀市内丘陵部の交通弱者の外出支援車運行

## メンバー

**実施者**：特定非営利活動法人 つばさ福祉送迎  
**連携団体**：横須賀市福祉部高齢福祉課地域力推進係、横須賀市本庁第二地域包括支援センター（一社）横須賀キッチンカー協会

## 活動目的

横須賀市は「谷戸」と呼ばれる比較的低い山に囲まれた狭わいな人口集積が点在。公共交通機関から離れており、近年生活の糧であった地元の個人商店も閉店が続いている。高齢者も多く、買い物・通院に不便を感じる方達を「街へ出よう」を合い言葉に、移動支援を実施。法人では車を所有していなかったために、TMF様の助成を受けて、車両をリース契約で入手し、オンデマンド方式で配車し地域の足を目指した。

**対象地域**：神奈川県横須賀市  
**人口**：386,700人  
内活動対象地域  
三春町 8,780人  
汐見台・望洋台地区 2,850人

## 取り組み内容

**キーワード**：自家用車(リース車両)の活用／ご近所助け合い／地域連携

1. 移動支援車両の運行：当初想定していた成果は、一月あたり延べ100名程度の送迎で、実績は年間193名の利用という目標には遠く及ばない結果となった。移動支援車両の稼働不振は、¥800～¥1,000の乗降介助料金設定の割高感、ボランティアセンターなどとの広報についての連携不足、専用携帯電話への予約に対する遠慮(または不安)等が考えられる。
2. 車両を用いない訪問型サービス：移動支援と共に、今後ニーズが増大すると考えられる、ご近所同士の助け合いレベルの訪問支援活動については、毎朝のゴミ出し、草刈り、廃品整理など、年間300件近いリクエストを受けており、サービスを提供する人員が不足した。



## 2020年度の活動実績

1. 移動支援車両の運行：2019年10月より2021年3月末 延べ221件(人)の通院や買い物を支援しました。これは最終目標100件(人)／月を大幅に下回りました。
2. ご近所助け合いによる訪問サービス：2019年10月より2021年3月末 延べ604件の依頼があり、支援者側の人員確保が困難な状況です。

## 取り組みが地域に与えた影響

利用者の登録数は29名で特に目標値を設定していなかったが、フルにご利用いただければ稼働できる上限数だったと考えられる。三春町地域では、地域包括支援センターの協力もあり、認知症予防サロンなどへの参加お声がけをいただき、説明の機会が多くあり、地域認知度は高くなり、ご近所助け合い活動へのリクエストが増えた。

また、汐見台望洋台地域は高台に立地しており、公共交通が遠く不便なために、買い物・通院にコアな利用者が定着した。しかし、二つの地区に共通して、移動支援車の利用が伸び悩んだのは、広報・料金体系・予約のしやすさ等に改善すべき課題があり、これを修正できなかったことが悔やまれる。

## 取り組みで得た知見（これから取り組む方に伝えたいこと）

サービスの提供を予定している地域に対して、その地域に住んでいる人を中心に組織作りを始めることが大切だと痛感した。私たちの場合は、法人がすでにあり、協力者は市内に散在しているために、一台の車両を効率よく運用することが難しい状況のままプロジェクトを開始してしまった反省もある。

## 専門家コメント\_福島大学

- ・移動支援のニーズはニッチなものであるため、利用者数の大小は、実は大きな問題ではない。小さいニーズであれば、どのように運営していけばよいか、その点の工夫が必要である。
- ・移動支援メニューと、生活支援メニューの実施時間帯が重なり、生活支援にウエイトが置かれたことが結果であった。伸びしろはあるため、事業形態の見直しを含め、小さく稼働する必要がある。